

# 2016年度動物看護師統一認定試験

## 一般問題

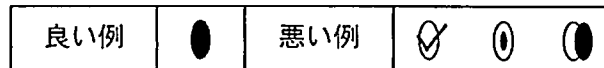
12:30 ~ 14:10 (90問)

### 注意事項

- 配布時に問題用紙と解答用紙があるかを確認してください。
- 試験開始の合図があるまで、問題用紙は開かないでください。
- 問題用紙と解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を記入してください。
- 解答は問題文にしたがい、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシル）で解答用紙に記入してください。
- 解答用紙は機械で読み取るので、次の記入例にしたがい、正しく記入してください。

#### [記入例]

解答番号を黒く塗りつぶしてください。



※2つ以上選んだ場合、正しい解答が含まれていても不正解とします。

※機械で正常に読み取れない解答は、不正解になる場合があります。

※訂正する時は、消しゴムで完全に消してください。

- 落丁・乱丁・印刷不鮮明なものなどがある場合は、試験監督までお知らせください。
- 試験終了の合図後、直ちに筆記用具を置いてください。
- 原則として、試験時間中の退出は出来ません。
- 問題用紙への書き込みは自由ですが、試験終了時に解答用紙とともに回収します。

受験番号	氏名

(2017年3月)

問1 神経系の分類に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 脳は末梢神経である。
- ② 脊髄は末梢神経である。
- ③ 体性神経は感覚や運動を司る。
- ④ 自律神経は知性や感情を司る。
- ⑤ 副交感神経は交感神経の作用を増強する。

問2 犬の体表リンパ節と支配領域の組合せとして正しいのはどれか。

- ① 下顎リンパ節 - 耳の周囲
- ② 浅鼠径リンパ節 - 前肢の上部
- ③ 腋窩リンパ節 - 乳腺全域
- ④ 浅頸リンパ節 - 後肢の上部
- ⑤ 膝窩リンパ節 - 膝から下の後肢

問3 胎子期の循環系に認められる特殊な構造の組合せとして正しいのはどれか。

- a: 卵円孔
- b: 膀胱円索
- c: 動脈管
- d: 卵円窩
- e: 臍静脈管索

- ① a、 b
- ② a、 c
- ③ b、 c
- ④ b、 d
- ⑤ d、 e

問4 ホルモンと分泌臓器の組合せとして誤っているのはどれか。

- ① 成長ホルモン - 下垂体前葉
- ② オキシトシン - 下垂体後葉
- ③ 糖質コルチコイド - 副腎皮質
- ④ パラソルモン - 膵臓
- ⑤ エストロゲン - 卵巣

問5 腎臓の構造と機能に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 腎小体では、水分の50%が濾過される。
- ② 腎小体では、アルブミンの100%が濾過される。
- ③ 血糖値に関わらず、グルコースは100%再吸収される。
- ④ 腎機能が低下すると、血液中の尿素が増加する。
- ⑤ 片側だけでも腎臓を摘出すると、不可逆的な腎不全を生じる。

問6 動物の筋肉に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 骨格筋は自律神経のはたらきにより収縮する。
- ② 小腸の筋肉は平滑筋である。
- ③ 心筋は体性神経のはたらきにより収縮する。
- ④ 膀胱の筋肉は骨格筋である。
- ⑤ 平滑筋は随意筋である。

問7 骨格系に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 長骨の強度は骨髄の強度に依存する。
- ② 犬は鎖骨がよく発達している。
- ③ 犬の指骨は近位から基節骨、中節骨、末節骨の3つの骨で構成されている。
- ④ 犬と猫の骨盤では、第7腰椎と腸骨の関節が連結している。
- ⑤ すべての犬と猫において、後肢に発達した狼指がみられる。

問8 犬の膝関節に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 安定性には、主に後十字靭帯が寄与する。
- ② 可動域は、外旋の角度と内旋の角度の差で表す。
- ③ 成犬の関節軟骨には、血管が存在する。
- ④ 半月板は、半月状の脂肪組織である。
- ⑤ 滑膜は滑液を分泌し、スムーズな関節運動に寄与する。

問9 細胞内小器官と機能の組合せとして正しいのはどれか。

- ① ミトコンドリア - タンパク質分解
- ② 小胞体 - タンパク質合成
- ③ リボゾーム - 呼吸
- ④ ゴルジ装置 - 解糖
- ⑤ 核小体 - 脂肪合成

問10 タンパク質の合成に必要な遺伝情報がDNAから転写されているのはどれか。

- ① トランスファー RNA
- ② メッセンジャー RNA
- ③ リボゾーム RNA
- ④ 二本鎖DNA
- ⑤ 一本鎖DNA

問11 幼齢動物において関節障害の副作用が懸念される抗菌薬はどれか。

- ① テトラサイクリン系抗菌薬
- ② ニューキノロン系抗菌薬
- ③  $\beta$ -ラクタム系抗菌薬
- ④ アミノグリコシド系抗菌薬
- ⑤ マクロライド系抗菌薬

問12 骨折の修復過程の順序として正しいのはどれか。

- ① 血腫(凝血塊)の形成 → 肉芽組織の形成 → 仮骨の形成 → 仮骨のリモデリング
- ② 血腫(凝血塊)の形成 → 仮骨の形成 → 仮骨のリモデリング → 肉芽組織の形成
- ③ 仮骨の形成 → 仮骨のリモデリング → 血腫(凝血塊)の形成 → 肉芽組織の形成
- ④ 血腫(凝血塊)の形成 → 仮骨の形成 → 肉芽組織の形成 → 仮骨のリモデリング
- ⑤ 仮骨の形成 → 血腫(凝血塊)の形成 → 肉芽組織の形成 → 仮骨のリモデリング

問13 組織におけるうっ血の説明として正しいのはどれか。

- ① 血液の流れが滞り、血液が凝固した状態。
- ② 局所に流入する動脈血液量が増加した状態。
- ③ 組織からの静脈血還流が妨げられ、静脈血液量が増加した状態。
- ④ 血液の全成分が血管外に出て組織内に貯留した状態。
- ⑤ 動脈からの血液流入量が減少した状態。

問14 副作用として出血性膀胱炎をおこす抗腫瘍薬はどれか。

- ① 5-フルオロウラシル
- ② シスプラチン
- ③ シクロホスファミド
- ④ ドキソルビシン
- ⑤ メトトレキサート

問15 性染色体上に位置する遺伝子で形質が支配される遺伝を何というか。

- ① 単一遺伝
- ② 多因子遺伝
- ③ 限性遺伝
- ④ 伴性遺伝
- ⑤ 致死遺伝

問16 抗体を産生する免疫細胞はどれか。

- ① 組織球
- ② 好酸球
- ③ 好塩基球
- ④ Bリンパ球
- ⑤ Tリンパ球

問17 感染性を保持したまま弱毒化した病原体を主成分とするワクチンはどれか。

- ① 生ワクチン
- ② 不活化ワクチン
- ③ トキソイドワクチン
- ④ サブユニットワクチン
- ⑤ スプリットワクチン

問18 獣医療における放射線防護に関する記述として最も適切なのはどれか。

- ① X線撮影従事者の被曝量はゼロにしなければならない。
- ② 超音波検査時にも放射線被曝は生じる。
- ③ X線発生装置からの距離と被曝量は比例する。
- ④ X線撮影従事者の被曝量は定期的にモニターすべきである。
- ⑤ 小動物X線撮影時の被曝量はきわめてわずかであり、防護衣は必要ない。

問19 半減期8日の放射性同位元素の放射能が1/8になるのに必要な日数として正しいのはどれか。

- ① 8日
- ② 16日
- ③ 24日
- ④ 48日
- ⑤ 64日

問20 次の疾患のうち、細菌性感染症はどれか。

- ① 犬ジステンパー
- ② 狂犬病
- ③ レプトスピラ症
- ④ 猫伝染性腹膜炎
- ⑤ 皮膚糸状菌症

問21 ウイルスに関する記述として誤っているのはどれか。

- ① 核酸はDNAかRNAのどちらかのみである。
- ② プリオンはウイルスとして分類される。
- ③ 細胞壁を持たない。
- ④ エネルギー産生機構を持たない。
- ⑤ 生きた細胞に感染して増殖する。



問22 次のウイルスのうち、アルコール消毒の効果が低いのはどれか。

- ① 犬パルボウイルス
- ② インフルエンザウイルス
- ③ エボラウイルス
- ④ 日本脳炎ウイルス
- ⑤ 牛コロナウイルス

問23 寄生虫感染において、「宿主特異性が高い」ことに関する説明として最も適切なのはどれか。

- ① 動物とヒトの双方に感染性を示す。
- ② ある動物種だけに寄生し、他の動物種には寄生しない。
- ③ 広い範囲の動物種に対して感染性を有する。
- ④ 同一の宿主に全生涯、または時間的に長く寄生する。
- ⑤ 吸血する際に宿主の体表に一時的に留まる。

問24 次の寄生虫病のうち、ノミが媒介する疾病はどれか。

- ① エキノコックス症
- ② 犬条虫症
- ③ アニサキス症
- ④ バベシア症
- ⑤ ライム病

問25 犬の偽妊娠に関する記述として正しいものの組合せはどれか。

- a: 不妊手術後に妊娠徴候が出現する。
- b: 発情後に妊娠していないにも関わらず、妊娠徴候が出現する。
- c: 発情期終了後のエストロゲン上昇が原因で生じる。
- d: 乳腺が発達し、乳汁を分泌する場合もある。
- e: 発情期終了2週間前後に発症し、徴候は1週間以内に消失する。

- ① a、b
- ② a、c
- ③ b、c
- ④ b、d
- ⑤ d、e

問26 精巣が分泌する主なホルモンはどれか。

- ① プロゲステロン
- ② プロラクチン
- ③ エストロゲン
- ④ アンドロゲン
- ⑤ オキシトシン

問27 次のビタミンのうち、血液凝固に関連するのはどれか。

- ① ビタミンC
- ② ビタミンK
- ③ ビタミンD
- ④ ビタミンA
- ⑤ ビタミンE

問28 生体内でエネルギー源となる栄養素の正しい組合せはどれか。

- ① タンパク質 - ミネラル - ビタミン
- ② ミネラル - ビタミン - 炭水化物
- ③ ビタミン - 炭水化物 - 脂肪
- ④ 炭水化物 - 脂肪 - タンパク質
- ⑤ 脂肪 - タンパク質 - ミネラル

問29 犬の疾患と療法食の組合せとして最も適切なのはどれか。

- ① 慢性腎臓病 - 低蛋白食
- ② 膵炎 - 高脂肪食
- ③ ストラバイト結石 - 低ナトリウム食
- ④ シュウ酸カルシウム結石 - 高蛋白食
- ⑤ 心疾患 - 低マグネシウム食

問30 獣医師法により認められている獣医療行為に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 診察しないで診断書を交付する。
- ② 診療しないで要指示薬品を投与・処方する。
- ③ 犬や猫の診療簿は2年経過後に廃棄する。
- ④ 診療時間外であることを理由に診療を拒否する。
- ⑤ 獣医師は、鳥類やフェレットなどの小動物も診療できる。

問31 RussellとBurchの「3Rの原則」が、その条文の中に明文化されている法律はどれか。

- ① 獣医療法
- ② 家畜伝染病予防法
- ③ 狂犬病予防法
- ④ 動物の愛護及び管理に関する法律
- ⑤ 身体障害者補助犬法

問32 麻薬および向精神薬の取り扱いに関する記述として正しいのはどれか。

- ① 飼育動物診療施設における麻薬の使用に必要な資格は獣医師免許のみである。
- ② 麻薬を保管する金庫に、麻薬以外のものを保管してはならない。
- ③ 向精神薬は、金庫での保管が義務付けられている。
- ④ 向精神薬の使用に際しては帳簿への記載が不要である。
- ⑤ 使用残液を廃棄する場合には、県の薬務課または保健所の担当職員の立ち合いが必要である。

問33 次の動物のうち、外来生物法において特定外来種に該当しないのはどれか。

- ① カミツキガメ
- ② ヒグマ
- ③ ブルーギル
- ④ アライグマ
- ⑤ ウシガエル

問34 日本において絶滅したと推定されている動物はどれか。

- ① ニホンヤマネ
- ② ニホンカワウソ
- ③ アカネズミ
- ④ ハタネズミ
- ⑤ クマゲラ

問35 世界規模での対応が求められる地球環境問題に該当しないのはどれか。

- ① 酸性雨
- ② 生物多様性の喪失
- ③ 光化学スモッグ
- ④ 有害廃棄物の越境
- ⑤ 熱帯林の減少

問36 狂犬病予防法において、輸入時に係留検査が義務付けられていない動物はどれか。

- ① あらいぐま
- ② スカンク
- ③ きつね
- ④ フェレット
- ⑤ 猫

問37 家畜や家禽では症状を示さず、人では激しい症状を示す人獣共通感染症はどれか。

- ① 口蹄疫
- ② 腸管出血性大腸菌感染症
- ③ 結核
- ④ ニパウイルス感染症
- ⑤ 高病原性鳥インフルエンザ

問38 ヒトへの感染経路が経口でないのはどれか。

- ① アニサキス症
- ② デング熱
- ③ エキノコックス症
- ④ クリプトスポリジウム症
- ⑤ トキソプラズマ症

問39 ワシントン条約に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 生物の多様性に関する条約
- ② 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約
- ③ 絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約
- ④ 気候変動に関する国際連合枠組条約
- ⑤ 地球温暖化を予防するための温室効果ガスの排出量削減を定める議定書

問40 動物看護過程の構成要素として誤っているのはどれか。

- ① 問題点の抽出
- ② アセスメント
- ③ 計画
- ④ 実践(援助や介入)
- ⑤ 経験

問41 次の疾患のうち、人獣共通感染症はどれか。

- ① レプトスピラ症
- ② ニューカッスル病
- ③ 犬ジステンパー
- ④ 猫白血病
- ⑤ 豚コレラ

問42 狂犬病予防法によって規定される犬の飼い主の義務として正しいのはどれか。

- ① 生後60日齢までに市町村長に登録申請する。
- ② 狂犬病予防注射は2年に1回受けさせる。
- ③ 犬鑑札と狂犬病予防注射済票は必ず装着する。
- ④ 成犬を取得したら60日以内に市町村長に登録申請する。
- ⑤ 死亡後は60日以内に市町村長に届け出る。

問43 「梅干しを見ただけで唾液が出てくる」という現象として正しいのはどれか。

- ① 古典的条件づけ
- ② オペラント条件づけ
- ③ 馴化
- ④ 感作
- ⑤ シェイピング(逐次接近法)

問44 次の犬種のうち、もともとは猟犬として作出されたのはどれか。

- ① シー・ズー
- ② チワワ
- ③ ダックスフンド
- ④ ボーダー・コリー
- ⑤ ウェルシュ・コーギー

問45 犬において優位な個体を示す行動の特徴はどれか。

- ① 視線を外す。
- ② 全体に低い姿勢で相手に近づく。
- ③ 耳を後ろに倒す。
- ④ 相手の鼻先をくわえこむ。
- ⑤ 腹部をさらす。



問46 動物病院における受付対応として最も適切なのはどれか。

- ① 電話で来院の連絡が入った場合、飼い主の名前だけを聞いておく。
- ② 診療の受付は、あらかじめ決められた順序を必ず守る。
- ③ 待合室では、来院動物を自由に遊ばせる。
- ④ 飼い主からの病気に関する質問には、自分自身の判断で回答する。
- ⑤ 診療までの待ち時間が長くなった飼い主には、状況を説明するなどの声掛けをする。

問47 注射法(投与法)と略語の組合せとして正しいのはどれか。

- ① 皮下注射 - IP
- ② 静脈内注射 - IM
- ③ 筋肉内注射 - IV
- ④ 硬膜外注射 - SC
- ⑤ 経口投与 - PO

問48 法律によって犬での実施が義務付けられているのはどれか。

- ① 混合ワクチン接種
- ② 狂犬病ワクチン接種
- ③ フィラリア予防
- ④ ノミ・ダニ予防
- ⑤ 不妊・去勢手術

問49 若齢犬の飼育管理として最も適切なのはどれか。

- ① 新生子は胎盤経由で移行抗体を獲得するため、初乳は必要ない。
- ② 人が哺乳させる時は、新生子の体を揺すりながら飲ませる。
- ③ 生後数日間の子犬に対する人工哺乳は、一般に2～3時間ごとに行う。
- ④ 一般に8週齢頃から離乳食を始め、12～14週齢時に離乳する。
- ⑤ 新生子の体重あたりのエネルギー要求量は成犬よりも少ない。

問50 老齢犬に関する記述として最も適切なのはどれか。

- ① 視力や聴力の低下に対する検査やケアを実施する。
- ② 若齢期よりカロリー要求量が高い。
- ③ 腎機能を保護するため、飲水量は制限する。
- ④ 筋力が低下するため、散歩はさせない。
- ⑤ 十分な免疫があり、フィラリア予防は必要ない。

問51 褥瘡に関する説明として正しいのはどれか。

- ① 背部の感染巣に続発して起こる。
- ② 患部を消毒することで治癒する。
- ③ 老齢犬の腹部に生じることが多い。
- ④ 寝たきりになった大型犬の肘部、腰部などに多くみられる。
- ⑤ 安静が重要であり、患部を下にして寝かせておく。

問52 抗生物質の細粒(力価100 mg/g)を体重10 kgの犬に薬用量20 mg/kg 1日2回で投与する。1日分の抗生物質の細粒は何gか。

- ① 0.2 g
- ② 0.4 g
- ③ 1.0 g
- ④ 2.0 g
- ⑤ 4.0 g

問53 体重6 kgの犬に12%(w/v)の注射薬を薬用量20 mg/kgで注射する。1回に必要な注射薬の量は何mlか。

- ① 0.10 ml
- ② 0.36 ml
- ③ 1.0 ml
- ④ 1.44 ml
- ⑤ 3.6 ml

問54 体重6 kgの犬に対して5 ml/kg/時間で静脈内点滴をする。輸液ポンプを使用せずに1 ml = 20 滴の輸液セットを用いると、1分間あたりの点滴筒の落下滴数は何滴か。

- ① 5滴
- ② 10滴
- ③ 15滴
- ④ 20滴
- ⑤ 25滴

問55 犬、猫の輸液治療に関する記述として最も適切なのはどれか。

- ① 輸液セットの内部は清浄なので、複数の動物に繰り返し用いる。
- ② 皮下輸液は、静脈輸液より効率よく脱水を改善する。
- ③ 静脈カテーテルの挿入部に腫れがみられた場合、そのままにして皮下輸液として継続する。
- ④ 腹腔内輸液は容易であり、犬において広く応用されている。
- ⑤ 輸液ラインを保護するため、必要があればエリザベスカラーを装着する。

問56 血液検査と用いる抗凝固剤の組合せとして最も適切なのはどれか。

- ① 血液化学検査 - EDTA-2K
- ② 血液ガス分析 - クエン酸Na
- ③ 血液凝固検査 - クエン酸Na
- ④ 血液塗抹検査 - ヘパリンNa
- ⑤ 血球計算 - ヘパリンNa

問57 犬で採血や投薬に用いられる前肢の静脈はどれか。

- ① 前腕静脈
- ② 伏在静脈
- ③ 橈骨静脈
- ④ 橈側皮静脈
- ⑤ 尺骨静脈

問58 心電図検査における第2誘導を観察するための電極装着部位の組合せとして正しいのはどれか。

- ① 左前肢 - 左後肢
- ② 左前肢 - 右後肢
- ③ 右前肢 - 右後肢
- ④ 右前肢 - 左後肢
- ⑤ 右前肢 - 左前肢

問59 ショックの病態にみられる症状の組合せとして最も適切なのはどれか。

- a: 震せん
- b: 黄疸
- c: 血圧低下
- d: 嘔吐
- e: 粘膜色の蒼白

- ① a、 b
- ② a、 c
- ③ b、 c
- ④ b、 d
- ⑤ c、 e

問60 ペットロスに関する記述として最も適切なのはどれか。

- ① 大切なペットを失ったとき多くの人にみられる状態である。
- ② 精神疾患のひとつである。
- ③ 感情的な反応であり、食欲不振や睡眠障害などの身体的な反応は示さない。
- ④ ペットに過剰な依存がなければ起こらない。
- ⑤ お悔やみカードや花を贈ることは症状の悪化を招く。

問61 消化管の縫合において、最も適切な縫合針はどれか。

- ① 三角針
- ② 鈍針
- ③ ヘラ型針
- ④ 逆三角針
- ⑤ 丸針

問62 周術期における疼痛管理に関する記述として最も適切なのはどれか。

- ① 侵襲の大小に関わらず、術後の痛みは同程度である。
- ② 鎮痛薬は、痛みが生じてから投与を開始することが望ましい。
- ③ 快適な入院環境を整えることで痛みを軽減できることもある。
- ④ 投薬や処置を複数組み合わせることは、管理の複雑化を招くため推奨されない。
- ⑤ 術後の痛みは当然であり、疼痛による動物の不動化が術後の治癒に必須である。

問63 動物の麻酔モニターに関する記述として最も適切なのはどれか。

- ① 手術中は麻酔モニターのためであっても、決して動物に触れてはいけない。
- ② 人間の五感は正確性に欠けるので、モニター装置のみを信頼すべきである。
- ③ 麻酔の維持が終了した時点で、麻酔モニターも合わせて終了する。
- ④ 注射麻酔の場合は、吸入麻酔と異なり必ずしも麻酔モニターを必要としない。
- ⑤ 麻酔モニターは連続的に実施しそれぞれの数値等を5分毎に記録することが望ましい。

問64 鳥類の呼吸に関する記述として最も適切なのはどれか。

- ① 横隔膜の役割が大きい。
- ② 鳥のさえずりは、咽頭部の収縮によって生じる。
- ③ 哺乳類と同様にガス交換は肺胞で行われる。
- ④ 鳥類には気嚢が存在し、呼吸に大きく関与する。
- ⑤ 哺乳類に比べてガス交換の効率が悪い。

問65 次の動物のうち、単胃動物はどれか。

- ① 牛
- ② 馬
- ③ 山羊
- ④ 羊
- ⑤ ラクダ

問66 手術前の手指消毒に関する記述として正しいのはどれか。

- ① スクラブ法は、まず指先から肘までスクラブし、水洗は肘から指先に向かって行う。
- ② スクラブ法で使用するスクラブ剤は、クレゾール石鹼が一般的である。
- ③ スクラブ法は、ブラッシングにより擦過傷や炎症を引き起こす可能性がある。
- ④ ラビング法は、スクラブ法より消毒に時間がかかるものの、手荒れが少ない。
- ⑤ 手指消毒後の両手の位置は、汚染を避けるため腰の高さに保持する。

問67 麻酔前の動物の身体状態を評価するのに用いられるアメリカ麻酔科医協会(ASA)の分類のうち、クラス3の説明として最も適切なのはどれか。

- ① 重度の全身性疾患を有する。
- ② 健康で鑑別すべき疾病がない。
- ③ 生命に関わる重度の全身性疾患を有する。
- ④ 健康であるが局所的疾患のみ、もしくは軽度の全身性疾患を有する。
- ⑤ 手術の有無に関わらず24時間以上の生存が期待できない。

問68 顕微鏡観察の手順として誤っているのはどれか。

- ① ステージに標本を載せる。
- ② 光量ダイヤルを最小にして電源スイッチを入れる。
- ③ 高倍率の対物レンズから観察を始める。
- ④ 接眼レンズを覗きながら光量を調節する。
- ⑤ レボルバーを回して倍率を変更する。

問69 滅菌の説明として正しいのはどれか。

- ① 病原性のある微生物を減少させ、感染しない状態にすること。
- ② 創傷部の壊死組織や異物を取り除くこと。
- ③ 病原性のある微生物だけを死滅させること。
- ④ 看護動物の体を濡れたタオルなどで拭いて清潔にすること。
- ⑤ 全ての微生物を殺滅、または除去すること。



問70 動物病院の衛生管理に関する記述として誤っているのはどれか。

- ① 感染症の症状を示さない動物が、他の動物への感染源となることはない。
- ② 感染経路には、媒介動物感染も含まれる。
- ③ 空気、飛沫、接触の3種類の感染経路は、動物病院内では特に重要である。
- ④ 隔離入院時の看護では、担当者はそれぞれ個人用防護具を着用して実施する。
- ⑤ 感染性廃棄物の適切な取り扱いが重要である。

問71 犬の先天性門脈体循環シャントに関する記述として正しいのはどれか。

- ① 門脈から大静脈に直接繋がった血管が存在する。
- ② 大型犬に多く見られる。
- ③ 血液中のアミノ酸が減少する。
- ④ 栄養管理では蛋白質を多く与える。
- ⑤ 内科疾患であり、手術は行わない。

問72 犬の肥満に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 筋肉の増加による体重増加も肥満に含まれる。
- ② 肥満の基本的な成因は、摂取エネルギーが消費エネルギーを上回ることである。
- ③ 5段階ボディコンディションスコア(BCS)において、適正值は1である。
- ④ 関節疾患を持つ犬は、肥満させることで関節機能を強化できる。
- ⑤ 肥満は疾患ではないので、一般的に治療は必要ない。

問73 僧帽弁閉鎖不全症に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 猫で多発する。
- ② 若齢犬で多発する。
- ③ 主な症状はくしゃみである。
- ④ 左心室から左心房に血液が逆流する。
- ⑤ 内科療法によって完治する。

問74 動物の肺炎に関する記述の組合せとして最も適切なのはどれか。

- a: 努力性呼吸がみられる。
- b: 呼吸数が減少する。
- c: X線像では肺野の透過性が低下する。
- d: 真菌感染由来の肺炎が最も多い。
- e: 目ヤニや唾液の流出がしばしば認められる。

- ① a、 b
- ② a、 c
- ③ b、 c
- ④ b、 d
- ⑤ d、 e

問75 ウッド灯検査で検出できる皮膚の病原体はどれか。

- ① 黄色ブドウ球菌
- ② マラセチア
- ③ 犬小胞子菌
- ④ イヌニキビダニ
- ⑤ ヒゼンダニ

問76 犬において、常に強い搔痒を示す皮膚疾患はどれか。

- ① 疥癬
- ② 甲状腺機能低下症
- ③ 副腎皮質機能亢進症
- ④ 天疱瘡
- ⑤ 皮膚糸状菌症

問77 巨大食道症によって吐出を示す犬に関する記述として最も適切なのはどれか。

- ① 持続するとアルカローシスが生じる。
- ② 吐物には常に胃液が含まれる。
- ③ 拡張した食道によって心不全が続発する。
- ④ 食事は、頭部を上に向け体を縦に保持した状態で与えると良い。
- ⑤ 原因に関わらず、多くの症例で完治が見込める。

問78 次の疾患のうち、多飲多尿を示す疾患の組合せとして正しいのはどれか。

- a: 糖尿病
- b: 分娩時の低カルシウム血症
- c: 副腎皮質機能亢進症
- d: 甲状腺機能低下症
- e: 肝硬変

- ① a、 b
- ② a、 c
- ③ b、 c
- ④ b、 d
- ⑤ d、 e

問79 犬の膀胱炎に関する記述の組合せとして正しいのはどれか。

- a: ウイルス感染での発症が多い。
- b: 尿管狭窄がしばしば続発する。
- c: 若齢犬では前立腺肥大が関与する。
- d: 雄より雌の方が罹患しやすい。
- e: 頻尿が見られることがある。

- ① a、 b
- ② a、 c
- ③ b、 c
- ④ b、 d
- ⑤ d、 e

問80 犬のアトピー性皮膚炎で検査対象となる免疫グロブリンはどれか。

- ① IgG
- ② IgM
- ③ IgE
- ④ IgA
- ⑤ IgD

問81 股関節形成不全(異形成)の発生が多くみられる犬種はどれか。

- ① チワワ
- ② 柴犬
- ③ トイ・プードル
- ④ ポメラリアン
- ⑤ ゴールデン・レトリバー

問82 直接的に視力の消失を引き起こす疾患はどれか。

- ① 網膜剥離
- ② 第3眼瞼突出
- ③ 睫毛重生
- ④ 乾性結膜炎
- ⑤ 眼瞼外反症

問83 緑内障を診断するために行われる必須の検査方法はどれか。

- ① 涙液量検査(シルマーテスト)
- ② 眼圧検査
- ③ 生体染色検査
- ④ X線検査
- ⑤ 超音波検査

問84 子宮蓄膿症に関する記述として正しいのはどれか。

- ① 発生にはテストステロンが関与している。
- ② 卵巣摘出を行うことにより発症率は低下する。
- ③ 初期症状として一般的に下痢を生じる。
- ④ X線検査では判定できないことが多い。
- ⑤ 治療としてエストロゲン投与が一般的である。

問85 犬の良性前立腺肥大症に関する記述として誤っているのはどれか。

- ① 中・高齢動物に発症しやすい。
- ② 去勢手術(精巣摘出術)の予防効果は大きい。
- ③ 排尿障害もしくは排便障害を示す。
- ④ 治療薬としてテストステロン製剤が用いられる。
- ⑤ 直腸検査、超音波検査もしくはX線検査で診断する。

問86 超音波スケーラーに関する記述として正しいのはどれか。

- ① 音波振動により歯を研磨する装置である。
- ② 無麻酔下での使用が一般的である。
- ③ プローブを1か所の歯に長時間あて続けてはいけない。
- ④ プローブの先端は歯に直接あてて操作する。
- ⑤ 使用する部位に水を噴霧してはいけない。

問87 骨生検に一般的に用いられる生検器具はどれか。

- ① ジャムシディー生検針
- ② Tru-cut(ツルーカット)針
- ③ ストロウ
- ④ パンチ生検器具
- ⑤ 把持鉗子

問88 前十字靭帯の主な役割として正しいのはどれか。

- ① 大腿骨の後方変位の抑制
- ② 脛骨の前方変位の抑制
- ③ 大腿骨の前方変位の抑制
- ④ 脛骨の後方変位の抑制
- ⑤ 足根関節の伸展の抑制

問89 問題行動の治療薬として用いられる薬物はどれか。

- ① クロルプロマジン
- ② モルヒネ
- ③ クロミプラミン
- ④ リドカイン
- ⑤ アセトアミノフェン

問90 全身性けいれん発作を起こさない疾患はどれか。

- ① 脳腫瘍
- ② 水頭症
- ③ 椎間板ヘルニア
- ④ 脳炎
- ⑤ 肝性脳症